



永久につづくように頑張っていきたいと思っています

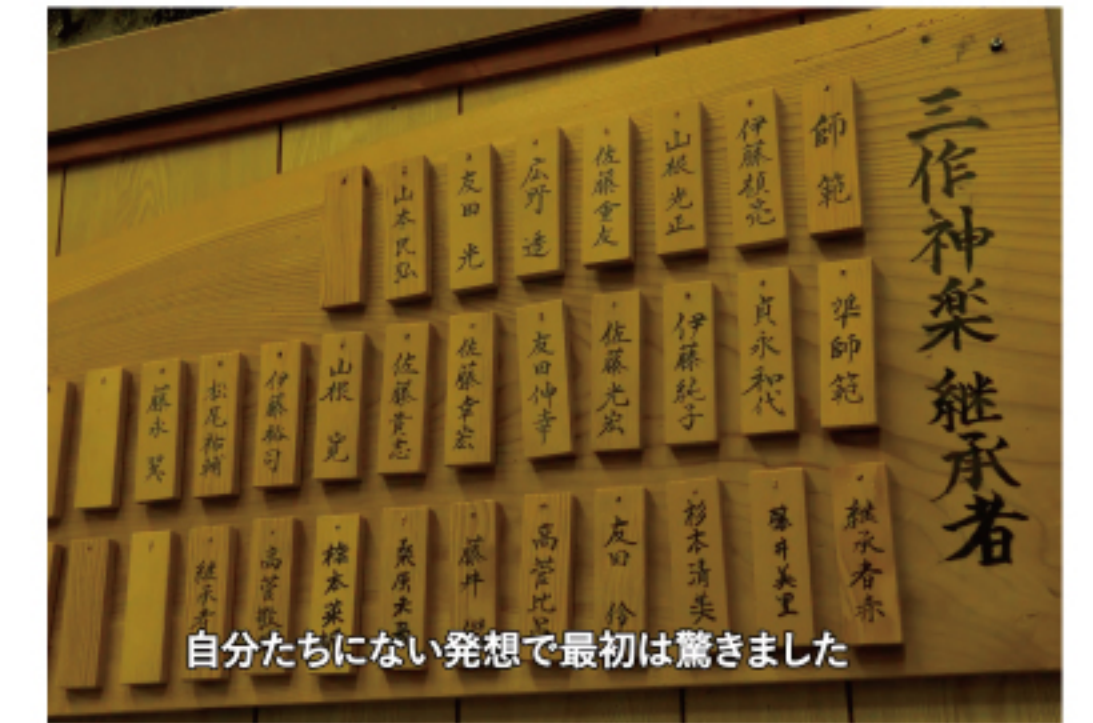
「神楽でまちづくりプロジェクト」

NPO 法人まなびデザインラボ × 三作神楽保存会

- 教育・子育て
- 地域づくり
- 福祉・健康・医療
- 産業・観光
- その他（国際交流）
- 生涯学習・人権
- 安心安全
- 都市基盤
- 環境共生



三作神楽が消滅してしまうのではという危機感を感じまして



自分たちにはない発想で最初は驚きました

三作神楽の後継者確保と新たな雇用の創出

1. 地域の特産品のリブランド化・販売などにより地域所得を創出し、コミュニティビジネスとして所得の一部を三作神楽の伝承活動に充てる。
2. ホームページを立ち上げ、三作神楽の認知度を上げ、通い後継者制度を確立し、地域特産品の販売促進や新たな雇用の創出などの地域活性化につなげる。

PROJECT POINT

- ① 時代に合った伝承の形（通い後継者制度）の策定
- ② 後継者のレベルの可視化による意識改革

APPROACH

三作神楽の認知度を高め、新たな後継者制度で次世代の後継者を呼び込む

“神楽でまちづくりプロジェクト”の取り組み

現在はまだ後継者がいるが、地域の高齢化・過疎化に伴い、このまれば三作神楽が消滅してしまうという危機を感じ、プロジェクトを開始した。時代に合った伝承の形（通い後継者制度）を作り、新たな後継者を呼び込むことができた。「三作神楽式年祭（7年ごとの卯年、酉年に五穀豊稔、疫病退散を河内社に祈願し、奉納する式）」では、5名が後継者として入って来た。また、後継者の現在のレベルを可視化することで、後継者の意識の改革をすることもできた。

“神楽でまちづくりプロジェクト”の目標

代々受け継がれてきた「三作神楽」を若い世代に引き継ぐため、ホームページなどを立ち上げるなどして、三作神楽の認知度を上げ、これからも後継者を呼び込む活動を続け、三作神楽が永久に続くよう今後も活動を続けていく。さらに、地域の特産品のリブランド化・販売などにより新たな雇用、地域所得を創出し、コミュニティビジネスとして所得の一部を三作神楽の伝承活動に充てていく。

【取材日：2018.01.30 / 2018.01.31】